

特定非営利活動法人
新潟国際ボランティアセンター



2015年度通常総会議案書

日時： 2015年5月16日(土)13:00～14:30

会場： 新潟市市民活動支援センター

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター
新潟市中央区営所通2番町692-27 ビラプリンス103
URL: <http://www.nvcjapan.org/>
E-mail: info@nvcjapan.org

2015年度 特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター
通常総会

- 次 第 -

- 1 開会
- 2 議長・議事録署名人・書記の選出
- 3 総会成立の確認
- 4 議案審議
 - 第1号議案 2014年度事業報告について
 - 第2号議案 2014年度収支決算・監査報告について
 - 第3号議案 2015年度事業計画について
 - 第4号議案 2015年度活動予算について
 - 第5号議案 役員について
- 5 閉会

-
- | | |
|---------------|------------------------------------|
| 14:30 ~ 15:00 | 2014年度第2回運営委員会 |
| 15:00 ~ 17:00 | NVC 地球を知る講座
「貿易ゲーム ~世界の不平等を学ぶ~」 |
| 18:00 ~ | 懇親会 |

NVC に吹く風

元気な市民団体には常に新しい風が吹いている、というのが私の持論です。もちろん、NVC もそんな団体のひとつです。

世の中には、設立当初は元気で生き生きしていても、時が経つにつれ事業はマンネリ化、担い手は固定化、活動の輪は広がらず・・・という市民団体がいかに多いことか！そんな中、NVC は四半世紀の長きに渡り、常に新たな出会いに恵まれて活動をつないできました。バックに大きな組織母体や決まった資金源があるわけではありません。「やりたい」という前向きな思いがつなぐこの活動こそが NGO の真骨頂であり、社会を楽しく良い方向へと変えて行く原動力なのだと思います。

NVC には様々な関わり方があります。バザーやイベントや講座のスタッフ。空いた時間に事務局でボランティア。できる範囲で寄付をする。周りの人に NVC を紹介する。アイデアや情報を提供する。イベントやスタディツアーに参加して楽しく交流する。などなど、やれる人がやれるところで力を発揮し、それらが「噛み合う」ことでさらに活動が充実していきます。近頃は若いスタッフを中心とした活躍により、その大事な「噛み合う」部分もさらに充実してきました。まだ不十分ながら中～長期的な展望も描けるようになり、これからますます楽しみです！

お陰様で、NVC 新潟国際ボランティアセンターは設立から 25 周年を迎えることができました。これも偏に、会員やボランティアの皆様、貴重なご寄付をくださった皆様、事業パートナーとして支えてくださった皆様のご尽力の賜と感謝いたします。これからも NVC は新しい風を捉え、人と活動を育てていく所存です。何卒よろしく願いいたします。



特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター
代表運営委員 金子洋二

2014年度事業報告

1 ラオス支援事業

(1) 事業の概要

2013年度に引き続き、ラオスの小規模農家が食料と自然資源を安定的・持続的に確保し、人々が平等に自然、農業、社会、開発からの「利」(現金収入、機会、技術)を享受することができるような社会を実現するために、サワナケート県のピン郡ならびにアサボン郡の農村部において、人が将来に渡り森を利用する権利を持ち続けられ、村人が農業の改善を通して安定した暮らしを送れることを目指しています。その手段として、

- | | |
|-----------------------------|----------|
| A 参加型土地利用計画 | E 米銀行 |
| B 土地・森林に関する意識啓発 (演劇・人形劇の実施) | F 家畜銀行 |
| C 自然資源管理 | G ラタン栽培 |
| D 稲作技術改善 | H 安全な水供給 |

といった活動を実施しました。

(2) 実施期間 2014年4月1日～2015年3月31日

(3) 実施場所 ラオス・サワナケート県2郡(アサボン郡、ピン郡)

(4) 担当者 JVC ラオス事務所12名/東京事務所1名 NVC ラオス事業担当 稲垣・羽田

(5) 受益者の範囲 約23村1800世帯11,000人

(6) 支出額 100,000円(当会からの協力金として) 27,632円(事業実施諸費)
計 127,632円

2 ベトナム奨学金事業

(1) 事業の概要

本事業は、NVCおよび他の団体・個人の資金拠出による計4件の奨学金について一括してNVCが窓口となり、各奨学金の趣旨に従って、ホーチミン市学生支援センター(SAC)の協力により、経済的困窮度の高い大学生に対して1人年額1万円を支給するものである。2014年度の支給人数は別表のとおり。

(2) 実施日または期間

通年

(3) 実施場所

ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

(4) 担当者及びスタッフの数

NVC担当者：榎谷圭司、松栄容佳

現地スタッフ：Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 62人

(6) 支出額

697,200円(奨学金特別会計より。事業実施諸費含む)

【別表】

	4年生以上	3年生	2年生	1年生(新規)	合計
NVCより拠出	9	10	20*	10	49
Roi & Thim 奨学金	-	-	-	1**	1
大学女性協会新潟支部奨学金	2	1	1	1	5
小計(NVC奨学金)	11	11	21	12	55
稲宮奨学金	5	2	-	-	7
合計	14	15	21	12	62

* このうち1人はSY2013-14にRoiさんが拠出した学生

**SY2014-15より特定の1人を卒業まで支援することにした

3 ベトナム障がい児支援事業

(1) 事業の概要

本事業はキークワン寺及びマダグイ子どもセンターで生活する盲目、肢体不自由、知的障がいなどの障がいを持つ子どもや青年を支援することにより、それぞれの施設の自立を助け、ベトナム社会への発展に寄与することを目的としている。

前年度からの継続事業として、それぞれの施設へ生活必需品の支援を行った。また、マダグイ子どもセンターは、女兒が成長したため女兒専用の部屋が必要となり、NVCではその部屋の改築工事費を支援した。2014年9月のスタディツアーにてキークワン寺およびマダグイ子どもセンターを訪問し、NVCの支援がそれぞれの施設に適切に届いていることを確認した。マダグイ子どもセンターの女兒の部屋はシャワー付きのトイレが併設されるなど、衛生面も完備した部屋が完成した。

(2) 実施日または期間

キークワン寺センター1：2014年4月～2015年3月

マダグイ子供センター：2014年4月～2015年3月

(3) 実施場所

ベトナム社会主義共和国 ポーチミン市キークワン寺センター1

ベトナム社会主義共和国 ラムドン省マダグイ子供センター

(4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子

現地スタッフ：Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

キークワン寺：約120名

マダグイ子供センター：45名（半数が障がい児）

(6) 支出額 729,700円（事業実施諸費含む）

内訳 キークワン寺：100,000円 フロア洗剤、洗濯洗剤、歯ブラシなどの生活用雑貨、肉入りヌードルなどのSpecial Foodなど、要望に応じて物資の支援を行った

マダグイ子供センター：500,000円 生活必需品の支援及び女兒の部屋の改築費用の支援を行った

4 ベトナム小学校建設プロジェクト

(1) 事業の概要

本プロジェクトはベトナムの貧しい地域で学ぶ子どもたちの教育環境を整え、ベトナムの未来を担う子どもたちを支援することが目的である。トキっ子くらぶと日本郵政グループ労働組合の2組織のスポンサーから資金を頂いた合同プロジェクトで、ベンチェ省ピンカンドン村小学校に新設の2教室を建設した。この2教室新設により、橋を超え遠い学校に行っていた子どもたちがピンカンドン村小学校に戻ってくることができた。

2014年4月にアグリーメント締結、5月初旬に建設を開始した。5月中旬に担当小林が現地を再視察し、関係者との面会、プロジェクトの進捗状況を確認した。建設は8月に完了し、9月初旬のスタディツアーで完成式に参加した。完成式は盛大に執り行われ、NVC ツアー参加者は人民委員会、ピンカンドン村、小学校側から厚いおもてなしを受け、完成式終了後も地域の方々から手料理をご馳走になり親交を深めることができた。

(2) 実施日または期間

2014年4月1日～2015年3月31日

(3) 実施場所

ベトナム社会主義共和国 ベンチェ省 ピンカンドン村

(4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子

現地スタッフ：Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

現在の生徒数 225名

(6) 支出額 1,030,858円 (事業実施諸費含む)

支援内訳	トキっ子くらぶ：	500,000円
	日本郵政グループ労働組合：	500,000円

5 フェアトレード事業

(1) 事業の概要

経済発展を続けるベトナムにおいて、開発から取り残された環境にあるマイ・アム・バー・チウ及びキムチシェルターで生活する子どもたちが職業訓練をしながら生産する商品を購入し、新潟で販売することで、かれらの自立を応援し、かれらと新潟にいる私たちがつながり、共に発展していくことを目指す事業。2014年度は両施設とのパートナーシップの構築に努め、今後商品を作り続けていく方向で話をまとめることができた。エコバッグの作成費、ミシン、縫製指導者の雇用費用などを支援し、女兒たちの縫製技術スキルアップのための支援を行った。

(2) 実施日/期間

通年

(3) 実施場所

ベトナム社会主義共和国ホーチミン市女兒専用孤児院 MABC (マイ・アム・バー・チウ)：
オリジナルのエコバックの作成
ロンアン省キムチシェルター：ポーチなどの縫製品の作成
販売は各種イベント会場及びバザー会場など

(4) 担当者およびスタッフの数

三上杏里、小林伸子、高山美結、その他フェアトレード事業ボランティアチーム

(5) 受益対象者の範囲及び人数

MABC：施設利用の女兒 25名前後

KimChi シェルター：シェルター利用女兒 100名の内 20名前後

(6)支出決算額 260,053 円 (事業実施諸費含む)

6 ベトナムスタディーツアー事業

(1) 事業の概要

ツアーを通してベトナムの現状やNVCプロジェクトの内容、現場、文化、歴史を知り、NVCの活動や援助の必要性を知る。そして、一事業に携わる事でNVC活動に対する当事者意識を育成する事を目的とする。

2014年は、NVC関係者はもちろんのこと、2013年度参加者の学生を中心に参加者を募った。一般5名、学生7名、NVC運営委員2名、添乗員1名でツアーを行い各事業現場への訪問及び建設したピンカンドン村小学校の竣工式に参加した。

また、2015年2月14日にはJICA地球広場主催の新潟グローバルセミナーに参加。スタディーツアーに参加した学生が自身の体験と今後何をしたいと思っているか、について発表をした。

(2) 実施日

2014年8月30日～9月4日(4泊6日)

(3) 実施場所

ベトナム社会主義国ホーチミン市ラムドン省マダガイ、ロンアン省

(4) 担当者及びスタッフ数

小林伸子、加藤健太、遠藤俊太郎、馬場拓也、山口明日香

(5) 受益対象者の範囲及びその人数

一般応募12名

(6) 支出額

34,950 円 (事業実施諸費含む)

7 チャリティバザー事業(愛のかけ橋バザー&フェスタ)

(1) 事業の概要

第26回NVC愛のかけ橋バザー&フェスタは、各事業の資金を調達し、広く市民にNVCの活動について知ってもらう機会とすることを目的に開催した。チャリティバザーによる物品販売を中心に、ベトナムのフェアトレード商品の販売やベトナム料理等の飲食販売も行った。また地球を知る講座を開催し、参加者と一緒に国際問題について考えた。多くのボランティアスタッフの協力により、市民・会員が気軽に参加し、楽しめるイベントとなった。

(2) 実施日または期間

2014年10月11日(土)～10月12日(日)

(3) 実施場所

ピアBandai にぎわいマルシェ

(4) 担当者及びスタッフの数

担当者：三上杏里、高山美結 当日ボランティア人数：延べ94人

(5) 受益対象者の範囲及び人数

来場者数：延べ1444人

(6) 支出額

108,638 円 (事業実施諸費含む)

8 啓発講座事業（地球を知る講座）

（1）事業の概要

新潟県在住の若者を含む広い年代に、国際問題・貧困問題・社会問題などの地球規模の課題/グローバルイシューを発信し、新潟県内における国際問題理解・啓発を行うことにより、新潟という地域と世界とがつながり、共に生きることのできる社会作りを目指し、地域社会における国際理解、人材育成、コミュニティ作りに寄与し、「富めるものから貧しいものへ」支援するという視点ではなく、新潟と世界が学び合い育ちあうことのできるような環境作りを目指す。

（2）実施日または期間

専門家を招いて学ぶ機会を年間5回設けた。特に、11月に元少年兵の方を招へいして行った講演会においては、80人を超える来場者があり、新規会員になってくださった方もあり、大きな成果を残すことができた。

（2014年5月 貧困と教育に関する講演会、2014年7月 世界で何が起きているのかを学ぶ講演会、2014年9月 身近なところから考える国際協力についてのワークショップ、2014年11月元子ども兵による講演会、2015年1月 ラオスの大型開発と貧困問題に関する講演会）

セミナー・ワークショップ報告レポート作成
レポート5部作成。

（3）実施場所

新潟市市民活動支援センター、ピア万代、ほんぽーと、新潟県立大学、田から屋

（4）担当者及びスタッフの数

羽田 達矢、高山 美結、根立 龍斗

（5）受益対象者の範囲及び人数

参加者 計124人（日本人120人、外国人4人）（上記のうち 主催者 15人）

（6）支出額

【支出実績】経費総額：276,824円（内、助成対象金額164,000円）（事業実施諸費含む）

【収入実績】参加費徴収：46,244円

9 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業

（1）事業の概要

新潟県内の大学や専門学校に在学し、新潟市に在住している「留学」の資格を持つ、一定以上の収入のない私費留学生に対し、1人につき年間5千円ずつの国民健康保険料の助成を行う事業。1年以上滞在する外国人は公的健康保険に加入しなくてはならず、多くの場合が国民健康保険に加入することになるが、経済的な負担となっているケースもある。そのため、経費の一部を助成することで、安心して医療を受けてもらおうという趣旨で、平成7年度から（公財）新潟市国際交流協会との協働事業として実施。一昨年より留学生とよりつながり国保を受給する上でのインタビューを行ったところ、留学生は大変感謝している旨聞くことができ、事業の効果を確認できている。

（2）実施期間 通年（保険料の助成金支払いは年度終了後）

（3）実施場所 新潟市内

（4）担当者 三上 杏里

（5）受益対象者の範囲及び人数、

助成件数：193件

【参考】新潟市内の大学に通う私費留学生：780人（2014.11月現在）

(6) 支出額 127,632円（事業実施諸費含む）

10 留学生人材育成事業（留学生インターン）

(1) 事業の概要

新潟という地域の特色やそこに居る人々に触れ、大都市ではなく地方におけるNGOの組織運営や周囲の人々への共感力を醸成する方法を習得してもらい、地域の人達とつながりを持てる事業デザイン、事業創造におけるリーダーとなることを意識してもらうことを目的とした事業。日本及び新潟はどのような地域課題があり、それに向けてどのような取り組みをしている組織があるのか、組織形態について視野を広げると共に、将来的に出身国であるベトナムの地方と新潟を結ぶ役割を担ってもらうことを意識した。公益信託アジア・コミュニティ・トラストより助成を受け実施した。

(2) 実施期間 2014年8月1日から9月19日まで

(3) 実施場所 NVC事務所及び参加イベント会場他

(4) 担当者 三上 杏里、留学生インターン（レ・ティ・ルア）

(5) 受益対象者の範囲及び人数 1名

(6) 支出額 229,082円（内、助成対象金額182,000円）（事業実施諸費含む）

11 その他の運営に関する事項

(1) 機関紙発行 「かけ橋」43号（2014年7月31日）44号（2014年12月21日）

(2) 運営委員会 毎月第3土曜日、新潟市市民活動支援センターにて開催

(3) 外部イベントへの出展

第85回県中央メーデー	2014年4月26日	陸上競技場
万代アースフェスタ	2014年5月3～5日	万代シティ
ありありフェスタ	2014年6月1日	万代シティパーク
TPPを考えるサマーフェスタ	2014年7月13日	アオーレ長岡
World scramble day	2014年8月24日	万代シティパーク
新潟国際交流フェスティバル	2014年9月7日	万代シティパーク
フェスタ万代島2014	2014年12月21日	トキメッセ

(4) 現地調査

ベトナム障がい児支援事業

2014年5月14～17日、事業担当者である小林運営委員が支援先のキークワン寺及びマダグイこどもセンター、マイ・アム・バー・チウ、キムチシェルター、ピンカンドン村小学校を訪問し、現地調査を行い、事業が適切に進んでいるか否かについて確認を行った。

ベトナム奨学金事業

2015年2月4日にベトナム・ホーチミン市学生支援センター（SAC）の主催によるNVC奨学金の授与式が市中心部のホールで開催され、金子代表、三上事務局長、新潟の学生1名が参加し、新入生に対し証書の授与及びSAC及び学生達と意見交換を行った。

(5) 2014年度 役員体制 (五十音順)

運営委員	稲垣伴憲、遠藤俊太郎、加藤健太、金子洋二、北村 泰、 櫛谷圭司、小出直未、小林伸子、武田彩美、佐々木寛、袖山由美子、 高橋正樹、高山美結、根立龍斗、羽田達矢、馬場拓也、松栄容佳、三 上杏里、皆川真理恵、山口明日香、若月 章
監 事	阿部美恵子、原 敏明
アドバイザー	面川雅博、篠田 昭、西村智奈美、前野春樹、山際 敦、山田太郎

(6) マスコミ掲載

2014年9月26日 市報 第26回愛のかけ橋バザー & フェスタのお知らせ掲載

2014年10月10日 朝日新聞 //

(7) その他

カレンダーの販売部数・・・1600円×101部

奨学金寄付者・・・大学女性協会新潟支部 50,000円 Ms.Roi 10,000円 高橋克紀氏 18,700円

一般寄付者・・・DININGBAR+LOUNGE Largo

中古ミシン寄付者・・・有限会社芹沢ミシン商会

加入している団体

日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟NPO協会、にいがたNGOネットワーク

助成金等

アジア留学生等支援基金(留学生インターン)、新潟県国際化推進活動助成金(地球を知る講座)、第8回かめのり賞(公益財団法人かめのり財団)

収入

項目	2014予算額	2014年度決算額	2013決算	備考
前年度からの繰越金(奨学金基金含)	5,732,899	5,732,899	5,661,200	
会費	1,176,000	785,000	842,000	
会費(個人)	800,000	384,000	444,000	
会費(学生)	20,000	8,000	1,000	
会費(家族)	100,000	40,000	80,000	
会費(団体)	56,000	43,000	43,000	
会費(賛助)	100,000	45,000	39,000	
会費(過年度)	100,000	159,000	167,000	
会費(翌年度)	0	106,000	68,000	
事業	1,245,000	819,567	643,356	
バザー売り上げ	800,000	437,163	417,566	
フェアトレードグッズ売上	200,000	45,150	0	
イベント売り上げ	50,000	129,410	45,950	
書籍・カレンダー売り上げ	170,000	161,600	168,340	
地球を知る講座参加費等	25,000	46,244	11,500	
寄付金	300,000	145,248	295,900	
学校建設指定寄付	1,000,000	1,000,000	0	
奨学金指定寄付	60,000	78,700		
募金	30,000	71,171	16,150	
助成金	150,000	1,246,000	254,000	
委託事業収入	0	0	200,000	
利息諸収入	800	269	201	
計	9,694,699	9,878,854	7,912,807	

支出(事業費)

項目	2014予算額	2014年度決算額	2013決算	備考
自主事業(海外)	2,845,000	2,752,761	1,403,140	
奨学金支援事業	707,000	697,200	650,000	
ベトナム障がい児支援事業	587,000	679,700	500,000	
現地代表手当	50,000	50,000	50,000	リン会員
フェアトレード事業	418,000	260,053	200,000	
スタディーツアー事業	46,000	34,950	3,140	
小学校建設事業	1,037,000	1,030,858	0	
自主事業(国内)	579,000	556,344	508,991	
バザー	137,000	108,638	161,742	飲食レンタル代金等
カレンダー	192,000	170,882	147,650	壁掛け
地球を知る講座	250,000	276,824	199,599	教材購入・講師招へい
他との協働事業	286,000	255,264	200,000	
ラオス(JVC)	138,000	127,632	100,000	JVCへ
留学生健康保険(新潟市)	148,000	127,632	100,000	新潟市国際交流協会へ
人材育成事業	0	229,082	0	留学生インターン
緊急支援	0	0	50,000	
事業実施諸費	0	0	102,184	
計	3,710,000	3,793,451	2,264,315	

支出(事務局費)

項目	2014予算額	2014年度決算額	2013決算	備考
印刷、文具	40,000	35,958	30,600	
広報宣伝費	50,000	74,826	19,120	
通信費	80,000	63,783	43,076	電話・メール便等
他団体登録費	30,000	63,602	0	
事務所費(家賃、光熱水費、保険)	186,000	137,514	155,270	
交通費	200,000	109,716	0	
予備費	20,000	49,492	6,200	
計	606,000	534,891	254,266	

支出(計)

項目	2014予算額	2014年度決算額	2013決算	備考
事業費	3,710,000	3,793,451	2,264,315	
事務局費	606,000	534,891	254,266	
法人税他	70,000	0	0	
計	4,386,000	4,328,342	2,518,581	

収入 - 支出(翌年度への繰越額) 5,308,699 5,550,512

2014年度 一般会計活動計算書

(費用科目別フォーム)

科目	金額		
	2014年決算	2014年予算	増減
経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	740,000	1,076,000	(336,000)
賛助会員受取会費	45,000	100,000	(55,000)
小計	785,000	1,176,000	(391,000)
2 受取寄附金			
一般寄付	145,248	300,000	(154,752)
小学校建設指定寄付	1,000,000	1,000,000	0
奨学金事業指定寄付	78,700	60,000	18,700
募金	71,171	30,000	41,171
小計	1,295,119	1,390,000	(94,881)
3 受取助成金等			
受取民間助成金	1,246,000	150,000	1,096,000
小計	1,246,000	150,000	1,096,000
4 事業収益			
バザー&フェスタ	437,163	800,000	(362,837)
フェアトレードグッズ売り上げ	45,150	200,000	(154,850)
イベント売り上げ	129,410	50,000	79,410
知る講座参加費	46,244	25,000	21,244
カレンダー売り上げ	161,600	170,000	(8,400)
小計	819,567	1,245,000	(425,433)
5 その他収益			
受取利息	269	800	(531)
委託事業収入	0	0	0
小計	269	800	(531)
経常収益計	4,145,955	3,961,800	184,155
経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費	169,940	50,000	119,940
法定福利費	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
人件費計	169,940	50,000	119,940
(2) その他経費			
任入もしくは事業実施費	2,684,597	2,450,000	234,597
講師謝礼	160,000	140,000	20,000
印刷費	11,377	11,000	377
広告宣伝費	51,950	57,000	(5,050)
通信費	14,984	11,000	3,984
会場費	7,800	20,000	(12,200)
委託費	0	200,000	(200,000)
消耗品費	52,319	6,000	46,319
支払い保険料	10,889	7,000	3,889
交際費	8,800	15,000	(6,200)
旅費交通費	210,020	218,400	(8,380)
送金手数料	7,040	5,600	1,440
家賃	327,000	327,000	0
光熱水費	44,800	177,000	(132,200)
その他雑費	31,935	15,000	16,935
その他経費計	3,623,511	3,660,000	(36,489)
事業費計	3,793,451	3,710,000	83,451
2 管理費			
(1) 他団体登録料	63,602	30,000	33,602
講師謝礼	0	0	0
印刷費	35,958	40,000	(4,042)
広告宣伝費	74,826	50,000	24,826
通信費	63,783	80,000	(16,217)
会場費	0	0	0
消耗品費	33,590	10,000	23,590
支払い保険料	6,410	6,000	410
交際費	0	0	0
旅費交通費	109,716	200,000	(90,284)
送金手数料	4,212	0	4,212
家賃	117,000	117,000	0
光熱水費	14,104	63,000	(48,896)
その他雑費	11,690	10,000	1,690
管理費計	534,891	606,000	(71,109)
経常費用計	4,328,342	4,316,000	12,342
当期経常増減額	(182,387)	(354,200)	171,813
経常外収益			
固定資産売却益・経常外収益	0	0	0
経常外費用			
税引前当期正味財産増減額	(182,387)	(354,200)	171,813
法人税、住民税及び事業税	0	70,000	(70,000)
当期正味財産増減額	(182,387)	(424,200)	241,813
前期繰越正味財産額	5,732,899	5,732,899	0
次期繰越正味財産額	5,550,512	5,308,699	241,813

(単位: 円)

2014年度 奨学金基金 受払台帳

項 目	2013年度決算額 (基金残高)	2014年予算額	2014年度受払		2014年度決算額 (基金残高)
			受	払	
NVC奨学金基金	2,685,659	490,000	0	490,000	2,195,659
大学女性協会		50,000	50,000	50,000	0
Ms.Roi		20,000	10,000	10,000	0
その他奨学金指定寄付	0	0	18,700	0	18,700
稲宮奨学金基金	160,000	70,000	0	70,000	90,000
利息諸収入(利息)	0	0	225	0	225
利息諸収入(ドル換金差額)	0	0	0	0	0
計	2,845,659	630,000	78,925	620,000	2,304,584

2014年度会計 貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター

科目・摘要	金 額		
資産の部			
1 流動資産			
現金	77,056		
普通預金(ゆうちょ銀行)	2,416,324		
普通預金(新潟県信用組合)	230,045		
定期預金(第四銀行 本店)	2,648,087		
振替口座(ゆうちょ銀行)	179,000		
流動資産合計		5,550,512	
2 固定資産			
固定資産合計			0
資産合計			5,550,512
負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計			0
2 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			5,550,512

2014年度会計 財産目録

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター

科目・摘要	金 額		
資産の部			
1 流動資産			
現金	77,056		
普通預金(ゆうちょ銀行)	2,416,324		
普通預金(新潟県信用組合)	230,045		
定期預金(第四銀行 本店)	2,648,087		
振替口座(ゆうちょ銀行)	179,000		
流動資産合計		5,550,512	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,550,512
負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			5,550,512

会計監査報告

2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)の収支決算
について、帳簿、預金通帳、その他関係書類を監査した結果、
すべて相違なく適正に処理されていると認めます。

2015年4月18日

監査委員

原 兼 明 

会計監査結果ヒアリング報告

2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)の収支決算
について、帳簿、預金通帳、その他関係書類を監査した結果、
すべて相違なく適正に処理されていると認めます。

2015年4月23日

監査委員

原部美恵子 

【原監事及び阿部監事からのアドバイス（要旨）】

原監事（4月16日日本監査時）

- ・ゆうちょ銀行が株式投資を始めた。NVCにとってはメインバンクなので、今後の動向に注目を要する。
- ・奨学金特別会計の表の作り方が一般の方には分かりにくいので、改善を検討されたい。
- ・奨学金プロジェクトの冠ファンド開設に関し、奨学生からの手紙は新潟にいるベトナム人留学生に翻訳してもらえばよいのでは。彼らにとっては日本語の勉強にもなるし、新潟との絆を深めることにもつながる。
- ・ベトナムの経済発展に伴い、周辺国も将来的な支援対象として検討を始めてはどうか。

阿部監事（4月23日日本監査終了後のヒアリング時）

- ・昨年は愛のかけ橋バザー&フェスタにボランティアスタッフとして参加した方々から例年以上に充実したイベントだったと評価をいただいた。拠点となる事務所を設け、準備体制が整った効果が大きいと思うので、ぜひ今後も活かしていただきたい。
- ・活動計算書は、新旧フォーマット両方作成していただきたい。多くの方が見やすい環境を維持することが重要。
- ・活動及び組織が活性化している波を感じている。しかし、その分各事業担当者や事務局の負担が増加しているので、人件費や各経費の負担を含め、個々人が背負いすぎない運営体制を構築してもらいたい。

2015年度事業計画(案)

2015年度事業実施の方針および中期ビジョンの進捗状況の確認

事務局より

2014年度は、何よりも「人」が集まり、そして新たに「人」を呼んでくれて、多くの方が共に「学び、成長すること」を目指してくれたという手ごたえを感じることができた1年でした。

一昨年スタディツアーに参加した学生さんが中心となって、新たにツアー参加者を募集したところ、予想を超える人数が集まることとなりました。そのツアー自体も今まで以上により「交流」することを重点においてプランを組んで実施したところ、ベトナムの人たちとツアー参加者の方々が密接につながることができました。特に、奨学生さんとツアー参加者さんたちは充実した意見交換をすることができた為、ツアーが終了し帰国した後もスカイプなどのインターネット電話サービスやフェイスブックなどのソーシャルネットワークサービスを利用してつながりを維持していると嬉しい報告を聞くことができました。ツアーに参加した学生さんの多くは、その後もNVCを通じて学びの場を増やしたい、と希望を寄せてくれ、積極的に活動に参加してくれております。

また、自発的にNVCのミッションを担ってくれる学生さんもいました。ある人は、自分のアルバイト先でNVCのことを紹介し、1年間継続して募金を集めてくれました。チャリティーイベントに参加し、NVCの活動を紹介することによって、イベントに参加した方々から寄付金を集めてくれた学生さんもいました。

愛のかけ橋バザー&フェスタにおいても、拠点となる事務所を設けたことにより、バザー開催日の1ヶ月前から事務所にて準備作業を行うことができた為、よりベテランボランティアさんと若い世代のボランティアさんが交流する機会が増え、活気あるバザー&フェスタを開催することができました。

こういったNVCで仲間を作ってくれ、NVCで学びの場を得てくれ、NVCを背負ってくれる若い世代の人たちが育っている、という流れを2015年は大切に、「人が育ち合う」仕組み作りを充実させていきたいと思っております。昨年度より導入したインターン制度を拡充させ、具体的にNGO業務の経験と実践を積んでもらい、学びの場としてまいります。また、自分が中心となって周囲の人たちにNVCのことを伝えていくアンバサダー制度を導入し、より役割を担ってもらう人を募集していきます。そして、ベトナムの人たちと私たちがつながり、世代を超えて交流し合い、人材育成を通じて新潟の地域づくりに貢献していきたいと思っております。

2014年度中期ビジョン達成状況確認リスト

事務局長 三上 杏里

専従スタッフ配置の検討	
現状	現在、ボランティアにて事務局長が事務局に常駐。8月から9月にかけて、留学生インターンを採用し、人材育成及び業務の分担のテスト運転を行った。
評価	○ ×
評価マークを受けてこれからすべきこと	2015年度は給与支払い規定の策定と各業務におけるインターン制度を拡充し、スタッフ体制の強化に向けて引き続き取り組んでいく。
企業や労働組合などの団体やNPO/NGOに対するアプローチの検討	
現状	7月に資金調達ミーティングを実施。25周年記念事業に向けて具体的な行動開始予定。
評価	○ ×
評価マークを受けてこれからすべきこと	奨学金事業におけるサポーター制度、新潟の若者の人材育成と言ったNVCの活動方針の再確認や広報におけるミッションステートメントを確立。今年度開催予定の25周年記念事業の広報も兼ねて具体的に各方面に向けて働きかけを行っていく。
フェアトレード事業開始に向けて準備	
現状	少しずつであるが、MABC及びKimchiとパートナーシップの締結に向けて進んでいる。
評価	○ ×
評価マークを受けてこれからすべきこと	JICA助成金の辞退、MABCにおける女兒たちのバッグ生産に対する認識のずれなどさまざまな課題が明らかになった。今年度は課題を一つずつクリアしながら生産ライン確定に向けて進めていきたい。
25周年記念講演実施(2015年開催に向けて準備)	
現状	講演のテーマや目的、ゲスト、日程が確定した。
評価	○ ×
評価マークを受けてこれからすべきこと	今後、具体的に開催に向けて進めていく。
認定NPO法人化に向けた準備開始(2013年度からの繰越議案)	
現状	2017年認定を目指して、100人から3,000円の寄付を募る手段を検討し、その他必要条件を再確認する。
評価	○ ○ ×
評価マークを受けてこれからすべきこと	寄付者数の拡大、賛助会員数の拡大などをはじめとして、より協力者を募るプランを構築する。
会員拡大に向けて行動開始(2013年度からの繰越議案)	
現状	会員募集チラシの作成及び配布などを行い、少しずつではあるが増加している。
評価	○ ○ ×
評価マークを受けてこれからすべきこと	過去に会員だった人や過去にバザーに協力してくれた人を潜在的顧客とし、アプローチする。また、アンバサダー制度などを導入し、より積極的に人を巻き込むことに力を入れていく。

2015年度中期ビジョン行程予定

- ・フェアトレード事業開始
- ・中期ビジョン中間報告(評価)
- ・設立25周年記念イベント開催

【各事業の実施計画】

1 ラオス支援事業

(1) 事業の概要

2014年度に引き続き、ラオスの小規模農家が食料と自然資源を安定的・持続的に確保し、人々が平等に自然、農業、社会、開発からの「利」(現金収入、機会、技術)を享受することができるような社会を実現するために、サワナケート県のピン郡ならびにアサボン郡の農村部において、人が将来に渡り森を利用する権利を持ち続けられ、村人が農業の改善を通して安定した暮らしを送れることを目指す。その手段として、

- | | |
|-----------------------------|----------|
| A 参加型土地利用計画 | E 米銀行 |
| B 土地・森林に関する意識啓発 (演劇・人形劇の実施) | F 家畜銀行 |
| C 自然資源管理 | G ラタン栽培 |
| D 稲作技術改善 | H 安全な水供給 |

といった活動を予定。2015年度は3年間の中期事業(2013年2月13日~2016年2月12日)の最終年度となる。

(2) 実施期間 2015年4月1日~2016年3月31日

(3) 実施場所 ラオス・サワナケート県2郡(アサボン郡、ピン郡)の30村

(4) 担当者 JVC ラオス事業担当 平野氏、ラオス事務所現地代表 林氏、
NVC ラオス事業担当 稲垣

(5) 受益者の範囲 約23村1800世帯11,000人

(6) 予算案 100,000円(当会からの協力金として)、26,000円(事業実施諸費)
計 126,000円

2 ベトナム奨学金事業

(1) 事業の概要

本事業は、NVCおよび他の団体・個人の資金拠出による計4件の奨学金について一括してNVCが窓口となり、各奨学金の趣旨に従って、ホーチミン市学生支援センター(SAC)の協力により、経済的困窮度の高い大学生に対して1人年額1万円を支給するものである。2015年度の支給予定人数は別表のとおり。ただし、新1年生の分から新しい制度を導入するのに伴い、人数に若干の変動が生じる可能性がある。

(2) 実施日/期間

通年

(3) 実施場所

ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

(4) 担当者およびスタッフの数

NVC担当者: 櫛谷圭司、松栄容佳

現地スタッフ: Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 53人

(7) 支出予算額

611,000円(内530,000円は奨学金特別会計より捻出)(事業実施諸費含む)

【別表】

	4年生以上	3年生	2年生	1年生(新規)	合計
NVCより拋出**	12	11*	10	10	43
Roi & Thim 奨学金	-	-	1		1
大学女性協会新潟支部奨学金	1	1	1	2	5
小計(NVC奨学金)	13	12	12	12	49
稲宮奨学金	4	-	-	-	4
合計	17	12	12	12	53

* このうち1人はSY2013-14にRoiさんが拋出した学生

**新1年生分より一般のサポーターを募集して充当する

3 ベトナム障がい児支援事業

(1) 事業の概要

今年度はキークワン寺センター1への支援とマダグイ子どもセンターへの支援を継続して行う。

キークワン寺は物資などの寄付が増えてきている一方で、新生児の増員に加え、重度な障がい者が社会に出て行く場がないなど、支援を必要とする人の数は増加の傾向にある。NVCとしては、現地のニーズを確認し、他の寄付ではまかなえていない生活必需品の支援を行う。

マダグイ子どもセンターは立地条件が悪いことから寄付が集まりにくく、継続的な資金支援の必要がある。NVCでは線香を製作する機械の購入費用を支援し、施設が自ら継続的な資金を調達できるような体制作りを目指す。線香プロジェクトについては、新潟県国際交流協会様より国際交流ふれあい基金助成金(40万円)を受給した。

(2) 実施期間 2015年4月～2016年3月

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ポーチミン市キークワン寺センター1
ベトナム社会主義共和国 ラムドン省マダグイ子供センター

(4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

キークワン寺センター1及びマダグイ子どもセンターで生活する障がいを持つ子ども・青年

(6) 予算額 741,000円 (事業実施諸費含む)

4 ベトナム小学校支援事業

(1) 事業の概要

2014年度に2教室を新設した、ベンチェ省ピンカンドン村小学校と継続して交流を行っていく予定である。この小学校では既存の教室の老朽化も問題となっており、児童の安全な教育環境を保持するためには引き続き支援を必要としている。NVCは今後も支援する策を探しつつ、ピンカンドン村の児童や地元の方々との交流を継続していく予定である。

また昨年まではベトナム小学校建設プロジェクトとしていたプロジェクトタイトルを小学校支援プロジェクトと変更することとする。

(2) 実施日または期間 2015年5月1日～2016年3月31日

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ベンチェ省 ピンカンドン村

(4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数 現在の生徒数225名

(6) 支出額 316,000 円 (事業実施諸費含む)

5 フェアトレード事業

(1) 事業の概要

2014 年度の経験を活かして、マイ・アム・バー・チウ及びキムチシェルターで生活することもたちが職業訓練をしながら生産する商品を購入し、新潟で販売することで、かれらの自立を応援し、かれらと新潟にいる私たちがつながり、共に発展していくことを目指す事業。

(2) 実施日 / 期間 通年

(3) 実施場所

ベトナム社会主義共和国ホーチミン市女兒専用孤児院 MABC (マイ・アム・バー・チウ) : オリジナルのエコバックの作成、新聞バッグ

ロンアン省キムチ (Kimchi) シェルター : ポーチなど縫製品の作成、新聞バッグ
販売は各種イベント会場及びバザー会場など

(4) 担当者およびスタッフの数

三上杏里、小林伸子、高山美結、その他フェアトレード事業ボランティアチーム

(5) 受益対象者の範囲及び人数

MABC : 施設利用の女兒 25 名前

KimChi シェルター : シェルター利用女兒 100 名の内 20 名前

(6) 支出予算額 310,000 円 (事業実施諸費含む)

6 スタディツアー事業

(1) 事業の概要

ツアーを通してベトナムの現状や NVC プロジェクトの内容、現場、文化、歴史を知り、NVC の活動や援助の必要性を知る。そして、一事業に携わる事で NVC 活動に対する当事者意識を育成する事を目的とする。

2015 年度は、昨年同様に参加者を公募し、ツアーを行う。内容は昨年現地の学生たちと交流したことが大変評価が高かったため、より人とのつながりを持てる内容にしていきたいと思っている。

(2) 実施日 2015 年 8 月 22 日 ~ 8 月 27 日 (4 泊 6 日)

(3) 実施場所 ベトナム社会主義国ホーチミン市とその近郊

(4) 担当者及びスタッフ数 加藤健太 馬場拓也 遠藤俊太郎 山口明日香 4 名

(5) 受益対象者の範囲及びその人数

最低催行人員 10 名。また、ツアー参加者は、基本的に NVC 会員とする。

(6) 支出額 95,000 円 (ツアーリーダー渡航費補助及び事業実施諸費含む)

7 チャリティバザー事業 (愛のかけ橋バザー & フェスタ)

(1) 事業の概要

NVC 愛のかけ橋バザー & フェスタを開催することにより、各事業の資金を調達するだけでなく、新潟を基盤とした NVC の国際協力について、広く市民に知ってもらう機会とする。チャリティバザーによる物品販売を中心に、地球を知る講座、フェアトレード商品の販売も行い、市民・会員が気軽に交流し、参加できるイベントとして発信する。

(2) 実施日 / 期間 2015 年 10 月 10 日 (土) および 11 日 (日)

(3) 実施場所 ピア Bandai にぎわいマルシェ

(4) 担当者およびスタッフの数

担当者：高山美結、三上杏里 当日ボランティア人数：延べ100人

(5) 受益対象者の範囲及び人数 来場者数：延べ1500人

(6) 支出予算額 122,000円(事業実施諸費含む)

8 広報・啓発講座事業(地球を知る講座)

(1) 事業の概要

新潟県在住の人々に、地球規模の課題を発信し、啓発を行うことにより、新潟と世界とが繋がり、共生できる社会作りを目指す。啓発活動でもある地球を知る講座事業は、バザーを除いては最も新潟の方々の参加が多い事業であるため、今年度は広報活動とリンクさせることにより「伝える」「仲間を増やす」ことの相乗効果を狙いつつ、年間を通じて数回のセミナー・ワークショップ講演会を実施する予定。その他ミニ講座、座談会など楽しみながら学べる機会を提供していく予定。また、インターン制度を採用し、広報や他団体とのつながりなどに実践経験を積んでもらい、新潟という地域における次世代のグローバル人材育成を達成していく。

(2) 実施日/期間

通年。

(3) 実施場所 新潟市市民活動支援センター、ピア万代、NVC事務所、他

(4) 担当者およびスタッフの数

担当スタッフ：三上杏里、馬場拓也(運営委員・広報インターン)、佐藤舞(啓発講座インターン)

(5) 受益対象者の範囲及び人数 200人

(6) 支出予算額 200,000円(事業実施諸費含む)

9 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業

(1) 事業の概要

例年通り、(公財)新潟市国際交流協会と協働で実施する予定。今年度も留学生とつながりを持つように努めつつ、より彼らと密につながっていくような体制を整えていく。

(2) 実施期間 通年(保険料の助成金支払いは年度終了後)

(3) 実施場所 新潟市内

(4) スタッフ 三上杏里

(5) 受益対象者の範囲及び人数 助成見込み件数：177件

(6) 予算額 126,000円(事業実施諸費含む)

10 設立25周年記念事業

(1) 事業の概要

NVCが25周年を迎えることを記念して、国際協力活動は、受益者のみならずそれに参加する人たちの人材育成も担っているということを企業の人々を中心に広く新潟県の皆さんに伝え、NVCの活動を知ってもらい「人」が育つ団体というNVCの魅力をアピールする。ベトナムから元奨学生のロイさんとNVCを現地で支え続けてくれているリンさん、JVCの谷山博史さんを招へいし、大規模なシンポジウムを開催する。

(2) 実施日/期間 2015年11月23日(月祝)

(3) 実施場所 新潟日報メディアシップ

(4) 担当者 三上杏里、小林伸子、馬場拓也、佐藤舞

(5) 受益者の範囲 150人(シンポジウム参加者)

(6) 支出額 700,000 円 (事業実施諸費含む)

1.1 その他運営に関する事項

(1) 「かけ橋」発行

(2) 運営委員会の開催

原則として毎月第3土曜日午前10時30分より、新潟市市民活動支援センターにて実施する

(3) 外部イベントへの出展

メーデー	2015年5月1日	新潟市陸上競技場
万代アースフェスタ	2015年5月3日及び5日	万代シティ
アフリカンフェスタ	2015年5月31日	アオーレ長岡
国際交流フェスタ	2015年9月6日	新潟ふるさと村

(4) 現地調査 支援先の現況把握としてベトナムでの現地調査を実施する。

(5) 人件費支払い規定の策定 (25ページ参照)

(6) 運営体制 会計及び会員管理担当インターン(山口明日香)を採用し、会計や会員管理について学んでもらう。

(7) 資金調達

- ・奨学金事業においてサポーター制度を導入し、奨学生への個人ドナーによる安定した資金調達ツールを策定する。
- ・楽しく募金ができる募金箱を開発し、募金金額の増加に努める。
- ・NVCのファン作りを担ってくれるようなアンバサダー制度を導入し、より仲間を増やしつつ、資金調達ができるような仕組み作りを整えていく。

(8) その他

加入予定団体 日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟NPO協会、にいがたNGOネットワーク

ベトナムミニプロジェクト～学生スタッフ発サッカーボール支援事業～

(1) 事業の概要

サッカーを通して、子どもたちの心身の成長に寄与することを目的として、キムチシェルターにおけるサッカー環境を充実させることのお手伝いをする。現在キムチシェルターでは皮製のサッカーボールを所有しておらず、そのため子どもたちはプラスチックの代用ボールを使ってサッカーをしており、充実したプレーが行えていない。このような状況を改善するため、今年度は皮製のサッカーボールを目標数10個集め、寄付することを目標とする。また、1週間キムチシェルターで一緒に生活させてもらうことで、スタディツアーで学びきれなかった、孤児院での本当のニーズとは何かを探ることも試みたい。

(2) 実施日/期間 2014年8月12日～19日

(3) 実施場所 キムチシェルター(Long thanh Temple)

(4) 担当者

野澤悠、Ms Ly thu Linh、Nguyen thi Hang Nga(元SAC奨学生。現在は大学を卒業し、働いている。2014年度のスタツアの際の交流会で友人になり、スタツア終了後も個人的に連絡を取り合っており、本プロジェクトへ通訳として協力を申し出ている。できれば、今後NVCの会員になってもらうことも含めてNVCの活動内容の説明なども行っていく予定。)

(5) 受益対象者の範囲及び人数 キムチシェルターの6～12歳の子どもたち約200人

(6) 支出予算額：本プロジェクトにかかる経費は、全て自己負担で実施する予定。

予定している費用は以下の通り 渡航費往復(Expedia)57,770円、食費約10,000円、ベトナム国内交通費約5,000円(タクシー使用)、日本国内移動費12,000円(夜行バス代)、宿代はキムチシェルターと相談、総額約8万5千円ほどを予定。

新潟国際ボランティアセンター報酬等に関する規定

第1条（目的）

この規定は、特定非営利活動法人国際ボランティアセンター（以下、NVC と称す）の事業運営及び管理運営に際して支払う報酬および謝金等について定める。

第2条（報酬の支払）

NVC の請け負う業務及び管理運営業務に携わる職員及び関係者への報酬は以下のように定める。

請負業務が確定し、NVC に収入が概算でも確定している場合 別表1の金額による

請負業務が確定せず、NVC に収入が見込まれない場合 別表2の金額による

2 報酬の金額については請け負う業務による NVC の財政状況を鑑み、毎年度見直しを行うこととする。

第3条（謝金の支払）

運営委員への役員報酬については原則支給しない。

第4条（報酬の計算期間及び支払日）

報酬は、当月1日から当月末日までの分について、翌月の運営委員会の承認を経て、運営委員会終了後の毎月25日に支払う。ただし、報酬支払日が休日にあたる場合は、その前日に支払う。

第5条（会計年度及び規定の改定）

NVC の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日とする。

2 本規定は毎年総会時に改定の決議を諮り改定することとする。改定後の規定は残りの会計年度内について有効とする。

3 前項の規定について、特段の支障が無い限り、改定前に発効していた規定内容は、総会以降も有効とする。

第6条（雑則）

本規定に定めが無い事項については運営委員会にて別途協議し、決定するものとする。

附則

この規定は平成27年6月1日より施行する。

別表1

業務内容	時給（円 / 時給 消費税込）
事務局業務統括者	1,000
事務局業務アシスト業務（事務局業務統括者の判断により必要と定めた場合）	800

別表2

業務内容	金額（円 / 日給 消費税込）
事務局業務統括者	500

2015年度 活動予算書

収入

項目	2015予算額(案)	2014決算額	2014年予算額	備考
前年度からの繰越金(奨学金基金含)	5,550,512	5,732,899	5,732,899	
会費	1,176,000	785,000	1,176,000	
会費(個人)	800,000	384,000	800,000	
会費(学生)	20,000	8,000	20,000	
会費(家族)	100,000	40,000	100,000	
会費(団体)	56,000	43,000	56,000	
会費(賛助)	100,000	45,000	100,000	
会費(過年度)	100,000	159,000	100,000	
会費(翌年度)	0	106,000	0	
事業	1,170,000	819,567	1,245,000	
バザー売り上げ	600,000	437,163	800,000	
フェアトレードグッズ売上	200,000	45,150	200,000	
イベント売り上げ	150,000	129,410	50,000	
カレンダー売り上げ	170,000	161,600	170,000	
地球を知る講座参加費等	50,000	46,244	25,000	
寄付金	600,000	1,145,248	1,300,000	H24は学校建設寄付含む
奨学金指定寄付	576,000	78,700	60,000	
募金	100,000	71,171	30,000	
助成金	800,000	1,246,000	150,000	
委託事業収入	0	0	0	
利息諸収入	300	269	800	
計	9,972,812	9,878,854	9,694,699	

支出(事業費)

項目	2015予算額(案)	2014決算額	2014年予算額	備考
自主事業(海外)	2,073,000	2,752,761	2,845,000	
奨学金支援事業	611,000	697,200	707,000	
ベトナム障がい児支援事業	741,000	729,700	587,000	リンさん人件費含む
フェアトレード事業	310,000	260,053	468,000	
スタディーツアー事業	95,000	34,950	46,000	
小学校建設事業	316,000	1,030,858	1,037,000	
自主事業(国内)	492,000	556,344	579,000	
バザー	122,000	108,638	137,000	飲食レンタル代金等
カレンダー	170,000	170,882	192,000	壁掛け
広報・啓発講座	200,000	276,824	250,000	教材購入・講師接待費
他との協働事業	252,000	255,264	286,000	
ラオス(JVC)	126,000	127,632	138,000	JVCへ
留学生健康保険(新潟市)	126,000	127,632	148,000	新潟市国際交流協会へ
25周年記念事業	700,000	229,082	0	
緊急支援	0	0	0	
事業実施諸費	0	0	0	
計	3,517,000	3,793,451	3,710,000	

支出(事務局費)

項目	2015予算額(案)	2014決算額	2014年予算額	備考
人件費	240,000	0	0	
印刷、文具	25,000	35,958	40,000	
広報宣伝費	50,000	74,826	50,000	
通信費	30,000	63,783	80,000	電話・メール便等
他団体登録費	30,000	63,602	30,000	
事務所費(保険含む)	136,304	137,514	186,000	
交通費	150,000	109,716	200,000	
予備費	0	49,492	20,000	
計	661,304	534,891	606,000	

収入 - 支出(翌年度への繰越額)

5,794,508 26 5,550,512

平成27年度 活動予算書
2015年4月1日から2016年3月31日まで

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター

科目	金額		
	2015年予算	2014年決算	増減
経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	1,076,000	559,000	517,000
賛助会員受取会費	100,000	21,000	79,000
小計	1,176,000	580,000	596,000
2 受取寄附金			0
一般寄付	600,000	116,232	483,768
奨学金事業指定寄付	576,000	60,000	516,000
募金	100,000	32,270	67,730
小計	1,276,000	208,502	1,067,498
3 受取助成金等			0
受取民間助成金	800,000	1,246,000	(446,000)
小計	800,000	1,246,000	(446,000)
4 事業収益			0
バザー&フェスタ	600,000	437,163	162,837
フェアトレードグッズ売り上げ	200,000	27,200	172,800
イベント売り上げ	150,000	115,250	34,750
知る講座参加費	50,000	44,300	5,700
カレンダー売り上げ	170,000	161,600	8,400
小計	1,170,000	785,513	384,487
5 その他収益			0
受取利息	300	0	300
委託事業収入	0	0	0
小計	300	0	300
経常収益計	4,422,300	2,820,015	1,602,285
経常費用			0
1 事業費			0
(1) 人件費	165,000	167,000	(2,000)
法定福利費	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
人件費計	165,000	167,000	(2,000)
(2) その他経費			0
仕入もしくは事業実施費	1,624,000	2,457,696	(833,696)
講師謝礼	180,000	120,000	60,000
印刷費	82,000	26,297	55,703
広告宣伝費	52,000	54,230	(2,230)
通信費	72,000	11,142	60,858
会場費	48,200	7,800	40,400
委託費	0	200,000	(200,000)
消耗品費	10,000	24,545	(14,545)
支払い保険料	3,000	10,889	(7,889)
交際費	5,000	9,610	(4,610)
旅費交通費	875,000	225,570	649,430
送金手数料	10,000	5,600	4,400
家賃	327,000	327,000	0
光熱水費	49,600	108,000	(58,400)
その他雑費	14,200	76,458	(62,258)
その他経費計	3,352,000	3,664,837	(312,837)
事業費計	3,517,000	3,831,837	(314,837)
2 管理費			0
(1) 人件費	240,000	0	240,000
法定福利費	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
他団体登録料	30,000	21,000	9,000
講師謝礼	0	0	0
印刷費	20,000	55,155	(35,155)
広告宣伝費	50,000	78,606	(28,606)
通信費	30,000	36,733	(6,733)
会場費	0	0	0
消耗品費	5,000	0	5,000
支払い保険料	10,000	11,453	(1,453)
交際費	0	0	0
旅費交通費	150,000	144,744	5,256
送金手数料	0	0	0
家賃	117,000	117,000	0
光熱水費	9,304	36,000	(26,696)
その他雑費	0	0	0
管理費計	661,304	500,691	160,613
経常費用計	4,178,304	4,342,248	(163,944)
当期経常増減額	243,996	(534,833)	778,829
経常外収益			0
固定資産売却益・経常外収益	0	0	0
経常外費用			0
税引前当期正味財産増減額	243,996	(534,833)	778,829
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期正味財産増減額	243,996	(534,833)	778,829
前期繰越正味財産額	5,550,512	5,732,899	(182,387)
次期繰越正味財産額	5,794,508	5,198,066	596,442

(単位：円)

役員を選任について

2014年度に選任された役員の任期を2年間としたため、今年度は下記役員が継続して任に当たる。

(五十音順)

運営委員	稲垣伴憲、遠藤俊太郎、加藤健太、金子洋二、北村 泰、 櫛谷圭司、小出直未、小林伸子、武田彩美、佐々木寛、袖山由美子、 高橋正樹、高山美結、根立龍斗、羽田達矢、馬場拓也、松栄容佳、三 上杏里、皆川真理恵、山口明日香、若月 章
監 事	阿部美恵子、原 敏明
アドバイザー	面川雅博、篠田 昭、西村智奈美、前野春樹、山際 敦、山田太郎